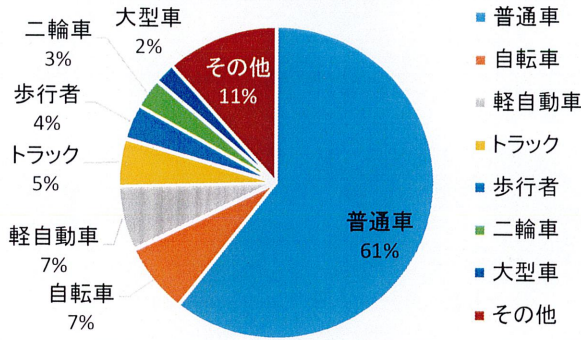


# ヒヤリハット情報の分析結果報告（令和6年中）

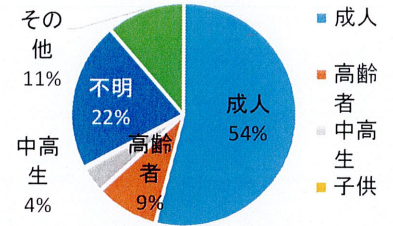
令和6年中のヒヤリハット情報について、集計・分析した結果は次のとおりである。

## 1 ヒヤリ・ハットの相手

項目	件数	%
普通車	585	60.6
自転車	70	7.3
軽自動車	65	6.7
トラック	47	4.9
歩行者	35	3.6
二輪車	30	3.1
大型車	21	2.2
その他	112	11.6
計	965	100

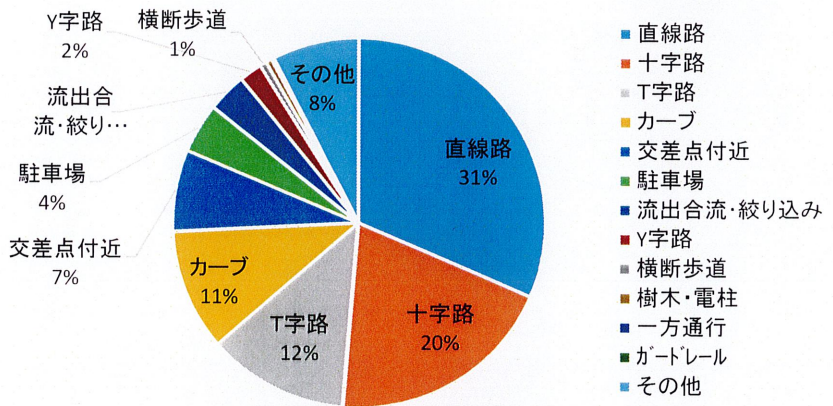


項目	件数	%
成人	521	54.0
高齢者	88	9.1
中高生	37	3.8
子供	2	0.2
不明	208	21.6
その他	109	11.3
計	965	100



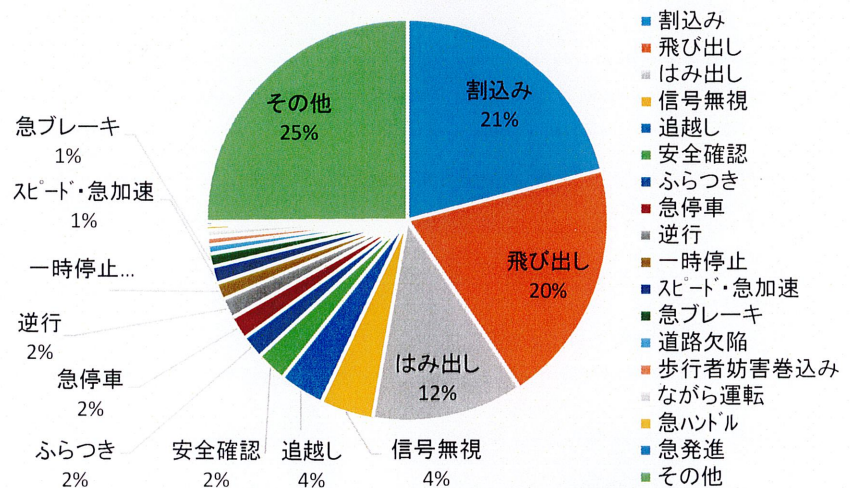
## 2 ヒヤリ・ハットの場所

項目	件数	%
直線路	304	31.5
十字路	191	19.8
T字路	119	12.3
カーブ	102	10.6
交差点付近	69	7.2
駐車場	42	4.4
流出合流・絞り込み	33	3.4
Y字路	19	2.0
横断歩道	6	0.6
樹木・電柱	5	0.5
一方通行	1	0.1
ガードレール	1	0.1
その他	73	7.6
計	965	100

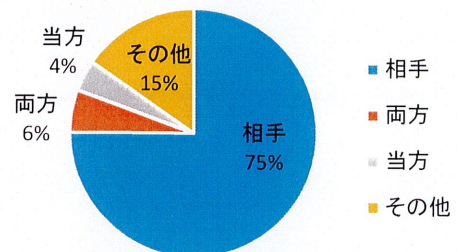


## 3 ヒヤリ・ハットの原因

項目	件	%
割込み	202	20.9
飛び出し	190	19.7
はみ出し	117	12.1
信号無視	41	4.2
追越し	35	3.6
安全確認	24	2.5
ふらつき	18	1.9
急停車	18	1.9
逆行	16	1.7
一時停止	13	1.3
スピード・急加速	13	1.3
急ブレーキ	10	1.0
道路欠陥	7	0.7
歩行者妨害巻き込み	6	0.6
ながら運転	6	0.6
急ハンドル	3	0.3
急発進	3	0.3
その他	243	25.2
計	965	100



項目	件	%
相手	725	75.1
両方	53	5.5
当方	39	4.0
その他	148	15.3
計	965	100



## ヒヤリハット情報の分析結果報告（令和6年中）

No.2

### 【ヒヤリハット分析(総件数 965 件)】

- ヒヤリハット時の相手方は、普通車、自転車、軽自動車、トラックの順に多い。

「交差点で左折時、夜間、無灯火自転車が左側を猛スピードですり抜けて行った。」

「走行中、左側の跨道橋下からいきなり自転車が飛び出した。」

など、中高生自転車による死角からの飛び出し等危険極まりない事例が報告されている。

- ヒヤリハット時の場所は、交差点(十字路・T字路・交差点付近) 40%、直線路 31%、カーブ 11%となっている。

- ・ 交差点では、通行区分を無視した割込み・飛び出しのほか、右折可の信号で出ようとしたところ、信号無視の対向直進車が直進したなど、危険な事例も報告されている。

- ・ カーブでは、対向車のはみ出し、内回り、雪等でのスリップが起因するヒヤリハットが多く、正面衝突も危惧される。

### 【乗務員教育の徹底】

- 常務員研修、実技訓練の実施

- ・ 定期的に全乗務員に対し研修を実施

ヒヤリハットの分析から、特に交差点、カーブなどでの危険な状況に的確に対応できるよう、周囲の交通状況に応じた安全速度の励行、安全確認の励行、車間距離保持の徹底等について、動画等を活用した研修を実施しており、また、全乗務員参加での実技訓練を継続実施する。

- ・ 安全運行のための体制・設備の充実

社内に輸送の安全に関する組織体制を確立させるとともに、通信設備を充実させ、運行中の道路情報、気象状況等の情報共有に努め、安全・安心な運行の実施に取り組んでおり、更にその強化に努める。